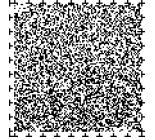




平成 30 年 2 月 28 日  
第 115 号

発行 福岡視力障害センター  
〒 819-0165 福岡市西区今津 4820-1  
(電話) 092 (806) 1361  
(FAX) 092 (806) 1365

ホームページ  
<http://www.rehab.go.jp/fukuoka/>  
印刷 社会福祉法人 福岡コロニー



## 卒業生に贈る言葉

### 所長 徳永 光則

ご卒業おめでとうございます。

いろいろ語りあった同級生、つらく長く感じた3年間の学業、藁にもすがる思いで待った合格発表など、思い出は蘇り、振り返るとあっという間に過ぎ去ったのではないのでしょうか。卒業は、新たな門出であり、自らの道を切り開いていく大きな分岐点でもあります。

これから皆さんは、それぞれの地域や職場において、新たな生活を始めることとなります。その第一歩を踏み出すとき、「チャレンジャー（挑戦者）」であるということを忘れないでいただきたいと思っています。

仕事を始めるとき、新しく何かに取り組もうとするとき、何事にも勇気を持ってチャレンジし、

前向きに変化を求めていていただきたいということです。

進歩・上達が遅いからといって、あれこれ悩むより、希望を捨てず、少しずつ積み重ねを繰り返し、自らの力を蓄えていくことで、誰にも負けない技能や技術が身に付き、いずれ大きな差となって現れます。

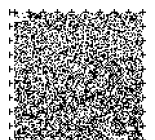
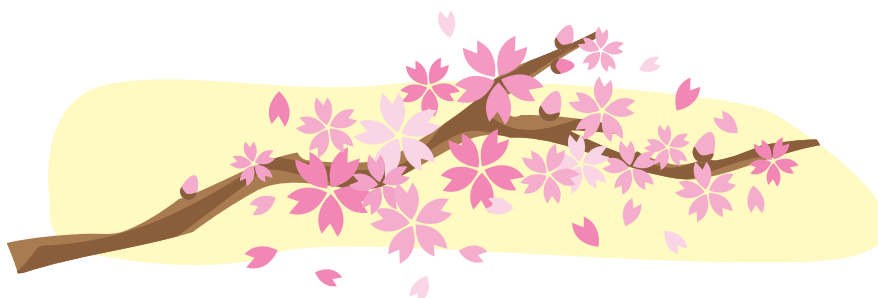
現状維持していただくだけでは、時代の変化とともに、いずれ後退し、また、諦めて辞めてしまったら、そこで終わってしまいます。

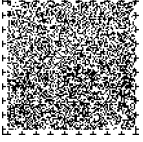
生涯にわたってチャレンジャーとして、たゆまぬチャレンジを通じて、更なる発展を遂げられることを期待しており、今後のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

### 同窓会長 楠原 宏和

中途視覚障害により、「失いかけた人生への希望と自信」を再び取り戻し、新たな道へと進んで行かれる7名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが進んで行くあはき業界は決して平坦な道ではありません。しかし、「一以貫之」の意

志を持って乗り越えてください。そして、やれば出来るんだ！この気持ちを大切に何事にもチャレンジしてください。心から応援しています。今後、皆さんの人生に幸多からんことを祈念し、メッセージと致します。





# 卒業生からのメッセージ

## 専門課程3年

### 佐藤直人さん

この3年間、勉学に加え部活や自治会活動など忙しくも充実したセンター生活を送ることができたのは、学習や生活の面で支えてくださった職員の皆さんや先輩方、そしてさまざまな活動で笑顔を届けてくれた後輩の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。一足先に新たな場所で後輩の皆さんを待っています。

### O. Tさん

思い返せばこのセンターで過ごした時間は1000日を超えていると思います。ここで過ごしたことで色々な人々と出会うことができました。私は東洋の言い方だと、陰中の陽であるらしいです。社会に出ても、自分では気づけない自分のことを気づかせてくれる一期一会を大切にしていきたいです。

### S. Kさん

あっという間の3年間でした。この3年で学んだ知識や技術は今後活かしていけるよう頑張りたいと思います。また、勉強面だけでなく、センターでの生活は自分にとってとても良い経験になりました。このセンターでは、多くの方々にお世話になり感謝しています。本当にありがとうございました。

### I. Hさん

3年間、先輩方・先生方のご指導のおかげで無事に卒業することが出来ました。

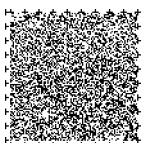
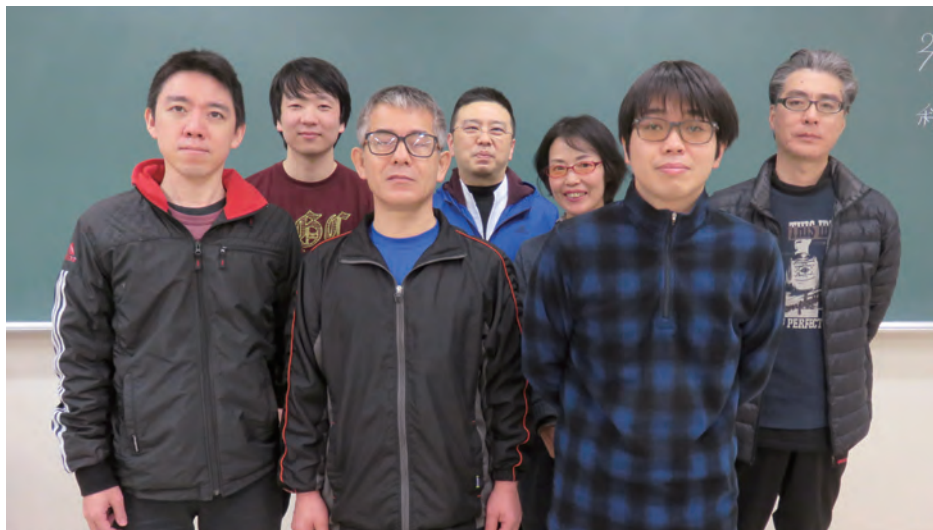
センターでの3年間の生活を乗り越えられたのは諸先輩方の支えがあったのです。

この感謝の気持ちを忘れず社会に出ても頑張ります。

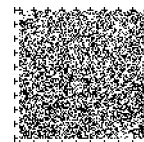
辛い時には先輩方のご指導を思い出し、自分自身に負けず頑張っていきたいと思います。

### H. Yさん

このセンターへ来た時の私は、社会復帰をするため、あはき免許を取得することだけが目的で、それ以外は何も望んでいませんでした。でもこうして卒業を目の前にすると、色々な先生方や学友との出会いがあり、その方々と過ごした時間は、私の今後の新たな人生の糧となり支えとなることを、自信を持って言えます。闘病生活のため社会生活から長く離れていた私にとって、今後も色々な苦難が待ち受けている事でしょう。でも、きっとそんな時はここでそうだったように、周りの色々な方々の支えできっと乗り越えられると信じて、このセンターを旅立ちます。



## 卒業生へのお祝いの言葉



### 自治会長 山崎 惇

卒業おめでとうございます。あっという間の3年間だったのではないかと思います。皆さんにはよく自室に招いていただいたり、遊びや飲みと色々教えていただきました。

体調に気を付けて、第2の人生をエンジョイしてください。また飲みに行きましょう。

### 教務課 安田 晴幸

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。臨床実習や模擬試験、フロアーバレーなど誰よりも頑張った皆さんですから、あはき師として飛躍し、活躍していただけることを願っております。本当にお疲れさまでした。

### 支援課 関口 雄介

卒業生のみなさん、この度はご卒業おめでとうございます。苦しい時期を乗り越え、今日のおよき日を迎えられて本当に嬉しく思います。この3年間はまさに勉強に身を投じ、本当にお疲れ様です。

今日から新たなスタートです。体調等崩すことなく、ご成功を収められることを心よりお祈り申し上げます。



## スポーツ訓練発表会

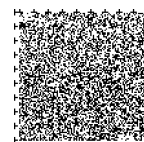
去る12月14日(木)、当センター体育館において、スポーツ訓練発表会を開催しました。利用者及び職員が参加し、ボッチャ(以下、BO)とフロアーバレーボール(以下、FV)を実施しました。

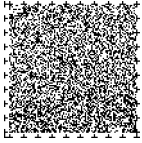


BOは予選リーグにおいて複数のチームが勝率で並ぶ大接戦となりましたが、この中の上位6チームが決勝トーナメントに進みました。決勝トーナメントはまさに下剋上の様相を呈し、準決勝

では予選1・2位のチームが敗れるという番狂わせも起きました。決勝戦は3年B班(予選4位)が2年B班(予選3位)を2-0で破り優勝を手にしました。

FVは3年生(予選1位)と1年生(予選2位)の決勝戦となりました。決勝戦は、地力に勝る3年生が15-13で勝利を収めました。発表会中はケガもなく、和気あいあいと有意義なひとときを過ごすことができました。





## 第2回視覚障害者に対する リハビリテーション研究会の 開催について

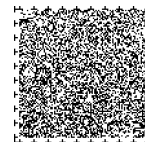
平成29年11月16日(木)の13時30分から11月17日(金)の13時まで、2日間、さいとぴあ及び当センター会議室において、上記研究会を開催しました。初日は、「視覚障害者の就労へのアプローチ」と題して眼科医師で北九州市立総合療育センター部長の高橋広氏の講演、その後、パネルディスカッションによる「就労支援における産業医との連携と各専門分野の役割」と題して、基調講演の高橋広氏、眼科医で産業医の村上美紀氏、当事者団体で日本盲人会連合の総合相談室長の工藤正一氏、当事者で熊谷組九州支店勤務の藤田善久氏、当センターの山田支援課長の司会進行のもとに、それぞれの立場から話題提供とともに討論を行いました。

た。二日目は、ワールドカフェ形式において4グループで「ロービジョンケアを考える」「個別訓練と集団訓練の在り方についてKJ法の手法も取り入れながら行い、グループ発表を行いました。初日は70名の参加で眼科医師、視能訓練士、看護師、歯科医師、職業訓練指導員、教諭等々多彩な顔ぶれでした。二日目は、20名の参加で様々な職種間で忌憚のない話し合いができました。

今後に向けて、福岡視力障害センターで、様々なテーマのもと研究会を毎年行ってほしいとの意見を沢山いただきましたので、規模は小さくても年に数回実施していくこととなりました。



# Eyeあいフェスタ



平成29年12月3日(日)、当センター恒例の「Eyeあいフェスタ」を開催しました。視覚に障害のある方の仕事や生活について、広く一般の方々に知っていただくことを目的としたイベントで、今回で7回目となります。女子ブラインドサッカー日本代表選手であるラッキーストライカーズ福岡の橋口史織さんとJBFA認定コーチの鮎本高志さんによる講演をはじめ、九州盲導犬協会や福

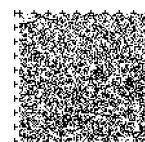
祉機器メーカーによる展示コーナー、マッサージ体験、暗闇体験などの人気定番コーナーを用意しました。また、新しい試みとして各ブースをまわるスタンプラリーや視力障害者向けスポーツ体験コーナーも実施しました。特にスポーツ体験コーナーは、若者やお子様に大人気で、珍しい競技を楽しんでいただけました。多くの方々のご参加と、関係機関の皆さまのご協力に御礼申し上げます。

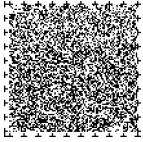


## 神戸センターとの親善スポーツ・文化交流会

今年度も毎年の恒例行事である神戸センターとの交流会を平成29年7月6日(木)、7日(金)の2日間で行いました。開催場所は、福岡と神戸で毎年交互に行っており、今年度は福岡センターでの開催で、神戸センターからは10名の利用者の方々に来て頂きました。スポーツ交流会ではフロアバレー、ゴールボール、サウンドテーブルテニスの3種目の対抗戦を行い、文化交流会では1日目の夜

に三線の演奏、クイズ、ラムネの早飲み、2日目の午前に願い事を書いた七夕の短冊の飾り付けを行いました。当センターの利用者の自治会役員が中心となり、準備から当日の運営まで行いました。スポーツでは真剣に競技に取り組み、文化交流会では笑いが絶えず、とてもよい雰囲気での交流を深めることができました。





# 自立訓練について

## ロービジョン訓練

福岡視力障害センター自立訓練（機能訓練）のロービジョン訓練では、①保有視覚の自覚、特に視野についての理解②基準点と実際の見え方のズレを意識化③個々の視覚補助具の特性を把握したうえで、生活シーンに合わせた実用的な使い分けを目標に訓練を実施しています。原職復帰、新規就労、進学、家庭復帰などひとりひとりの目標や見え方の違いを鑑みて、実際に必要な訓練を無駄・無理・ムラなく訓練を実施しています。見えづらさでお困りの方は、ぜひ、当センターへの見学相談をしていただければ幸いです。



## 利用者募集

### 1 当センターが提供する施設障害福祉サービス

サービス名	サービス内容	利用開始日	利用申請受付
自立訓練 (機能訓練)	歩行訓練、点字訓練、パソコン訓練、タブレット訓練、日常生活訓練（身辺処理・調理等）、スポーツ訓練、視覚的補助具の紹介、教養等	随時 (原則として月曜日)	随時
就労移行支援 (養成施設)	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家試験受験資格取得に向けた学習、進路支援等	毎年度 4月上旬	年3回

※通所が困難な方に宿舎・食事・生活支援等を行う「施設入所支援」サービスも提供しています。

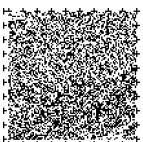
### 2 利用に関する問い合わせ

サービス利用や利用料等の詳細、パンフレット・紹介ビデオ(DVD)等の送付、施設利用のお申込み、見学をご希望の方は、下記までお気軽にお問合せください。

電話：092-807-2844(支援課直通)

092-806-1361(代表)

Eメール：shienka-fukuoka@rehab.  
go.jp



## 編集後記

専門課程2年 山崎 惇

平成29年度も終わりが近づいてきました。今年度の福岡センターでは神戸センターを招いての交流会や福祉村運動会とイベントが盛りだくさんでした。皆さん忙しい年だったと思いますが良い思い出になったと思います。皆さん1年間お疲れ様でした。

専門課程2年 K.A.

平成29年度は、神戸センターとの交流会に始まり今津福祉村運動会、今津校区文化祭、慰問ライブなどイベント盛りだくさんな年でした。特に神戸センターとの交流会では凝った内容を準備しただけに、直前の台風上陸で開催が心配されましたが、無事に開催することができよかったです。卒業生の皆さんにも記憶に残る年になればうれしく思います。

